

## 2010年度の改・修正点

※ ルールブック参照願います

### 1 改正点

#### ① タッチネットの反則（Vプレー上の動作と反則 - 6 - ⑩）P. 24

2009年度版の注解にあった「ボールをプレーしようとしていないときに、偶然に振れた場合は反則とならない」を削除し、「**競技者がインプレー中に支柱に触れてもタッチ・ネットの反則にはならない**」と改正した。

**タッチネットの定義は「競技者がインプレー中にネットやアンテナに触れた時」である。**

### 2 修正点

#### ① 競技者の服装（Ⅲ試合の準備と進行 - 2 - 注解②）P. 15

「都道府県交流大会等では1から99の番号を用いてもよい」を追記

※全国大会等では（Ⅲ試合の準備と進行 - 2競技参加者の権利と義務 - 4）P. 15

にあるように、1番から8番の番号を付けなければならない。

#### ② ボールアウトの反則（Vプレー上の動作と反則 - 6 - (13) - ③）P. 25

ボールがネット下（ ）を完全に通過して、相手側コートに入ったとき。

…ネット下の空間を…を追記

※公式ハンドシグナル 付録1-2 P. 58

#### ③ インターフェアアの反則（Vプレー上の動作と反則 - 6 - 注解③） P. 25

「インターフェアアの反則があったとき、主審はその競技者を指す」を追記

※字句の修正 「インタフェア」を「インターフェアア」に修正

#### ④ アタックヒット（Vアタックヒット - 3 ） P. 22

旧) サービスとブロックを除き、ボールをネットの上端より完全に高い位置から相手に向かって送ろうとするすべての動作は、アタック・ヒットとみなされる。

アタック・ヒットは、ボールがネット上方の垂直面を完全に通過した瞬間、あるいは相手方競技者に触れたとき、完了する。

<1> 4人の競技者は、どの位置にいても、味方のプレー空間内であれば、どんな高さからでもアタック・ヒットを行うことができる。ただし、「ファミリーの部」では…

<2> 相手方のサービスしたボールを、アタック・ヒットすることは許されない。

### 3 公式記録記入法の字句の修正・サンプル用紙の修正 付録2-3

4 プロトコール(試合前、セット間及び終了後の手順) P. 69 ~ P. 70 により進行する。

5 付則 審判員とその責務及び公式ハンドシグナル P. 49 ~ P. 53 を確認してください。